

製品名: プロヒビチンウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03164**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 30 kDa; Observed MW: 30 kDa

抗原情報

遺伝子名	PHB1
別名	PHB1; HEL-215; HEL-S-54e
遺伝子ID	5245
SwissProt ID	P35232
免疫原	ヒトプロヒビチンの合成ペプチド

背景

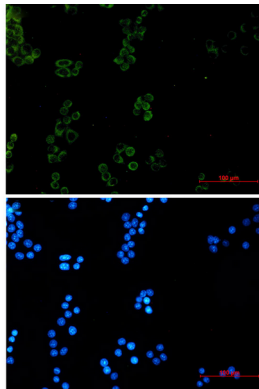
PHB1は、細胞周期制御に関与する30kDaの腫瘍抑制タンパク質です。PHB1はミトコンドリア、核、細胞膜、そして細胞外循環中

に存在しています。ミトコンドリアでは、プロヒビチンは主に膜結合型環状複合体として存在し、タンパク質合成および輸送におけるミトコンドリアタンパク質の安定性を維持するシャペロンとして機能します。

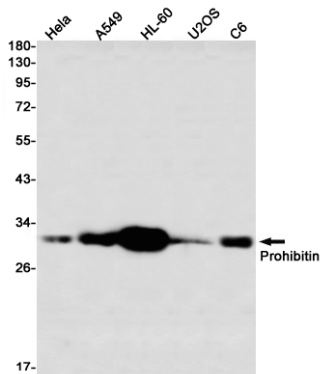
研究分野

細胞生物学

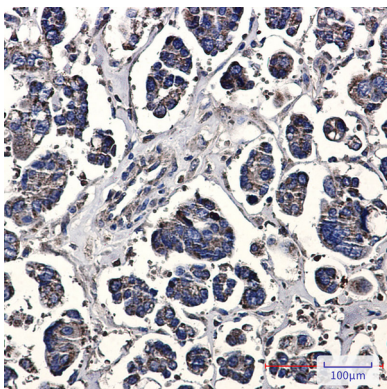
画像データ



プロヒビチン抗体と DAPI (青) を使用した HeLa 中のプロヒビチン (緑) の免疫細胞化学分析。



Prohibitin 抗体を使用した、HeLa、A549、HL-60、U2OS、C6 溶解物中の Prohibitin のウェスタンブロット分析。



プロヒビチン抗体を用いたパラフィン包埋ヒト胆管癌の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。